

平成 30 年度第 1 回理事・部門長合同会議議事録

日時：平成 30 年 7 月 14 日(土曜日)

場所：アイーナ 8 階 801 会議室

出席者：行森良一、菊池英岳、畠山秀樹、宮本祥一、畠山裕司、井上幸男、岡田進、
石川学、小野寺絵美、相馬明美、成田和也、小野寺奈緒、小田原聖、
下川波歩、佐々木久臣、山田範幸、相原淳路

I 報告事項(行森)

・西日本豪雨災害について

日臨技から各都道府県技師会に被災者申請の案内が来ている。北日本支部(東北臨技)としても今後、西日本の災害に対する対応を考えている。

・平成 30 年度第 1 回北日本支部幹事会について(7 月 6 日開催：郡山市)

第 6 回北日本支部医学検査学会(秋田)の報告があり参加者は約 830 人、演題登録数は 153 題であった。収支では 156 円の赤字計上であるが、おそらく秋田県技師会からの補助があると思われる。学術奨励賞は 3 名とも秋田から受賞した。

第 69 回日本医学検査学会(平成 32 年度)の開催は、北日本支部福島県臨床検査技師会担当で開催予定である。開催日は、4 月 24 日(金)、25 日(土)、26 日(日)仙台国際センター、川内萩ホールを仮予約している。学会長は山寺 幸雄氏(福島県)。日臨技からの最終的な承認を得ていないので前に進めない状態。開催日と会場を決定したのみである。臨床検査技師連盟の年会費は 1000 円であったが、平成 31 年 1 月 1 日から年会費が 3000 円に値上げとなる。

次期支部体制は支部長 山寺幸雄(福島・理事)、理事 小島佳也(青森・理事)、理事 橋内 健一(北海道)に決定した。全国学会の都合上、北日本支部学会の開催順番が変更となり 2020 年から岩手・北海道・福島・宮城・新潟・秋田・青森・山形の順で開催されることとなった。

・平成 30 年度北日本支部学会、研修会等予定について

新潟で 7/28~29 に一般部門研修会、新潟で 8/25~26 に臨床検査総合部門研修会、山形で 9/8~9 に臨床生理部門研修会、10/27~28 に盛岡市・リリオにて臨床血液部門研修会、青森で 11/10~11 に第 7 回北日本支部学会、山形で 11/17~18 に輸血細胞治療部門研修会、11/18 に奥州市・前沢ふれあいセンターにて第 23 回岩手県医学検査学会、山形で 11/23~24 に微生物部門研修会がそれぞれ予定されている。研修会の参加費は各県の考え方によるものがある。特に会員、非会員等の規定はない。

・第 7 回北日本支部医学検査学会について

会期：平成 30 年 11 月 10 日(土)~11 日(日) 場所：リンクステーションホール青森

新幹線の到着時間の都合により、開始は 10 日(土)11 時から一般演題開始予定とした。終了は 11 日(日)15 時 30 分頃の予定。新青森駅と会場のリンクステーションホール青森の間をシャトルバスが新幹線の到着時間に合わせて 9 時台と 10 時台に 1 便ずつ運行する予定。料金は片道 500 円。11 日学会終了後に 1 便、運行する予定である。岩手県からは 3 演題登録されているようだ。抄録集は冊子として作成しない。ホームページへ抄録 PDF をアップする。

- ・平成 30 年度の北日本支部役員及び学術部門長・部門員の変更について
今回、青森、山形、宮城、北海道で役員改選があった。
- ・平成 30 年度初級・職能開発講習会について
今年は岩手県で開催することを北日本支部幹事会で了承を得た。開催は日曜日となる。対象者は日臨技に所属する卒後 3～10 年の正会員。今後、詳細を決めていくこととなった。
- ・日臨技の総会が 6 月 23 日(土)に行われたが、委任状の回収率が 70%を超えた。皆様の協力に感謝します。

II 各事業について

1、総務部(菊池)

- ・会員名簿作成確認の作業を行っているが連絡のない地区もある。そろそろ締め切り印刷業者の選定を行い冊子作成に入る。
- ・親睦を深める活動として奥州市江刺種山ヶ原物見山でハイキングを計画した。
日時：9 月 30 日(日) 集合時間：10:00
場所：奥州市江刺種山ヶ原物見山
集合場所：奥州市江刺種山ヶ原星座の森駐車場
詳細はホームページに掲載する。

2、学術部(畠山秀樹)

- ・今年度の行事は 30 近く予定されている。既に 20 近く開催された。大きな行事は初級・職能開発講習会と 11 月 18 日(日)に前沢ふれあいセンターで行われる第 23 回岩手県医学検査学会がある。
- ・研修会の日程のバッティングについて
地区の研修会は地区で動いており、ほぼ内容が出来上がった状態で学術部に上がってくる。日程も詰まっている状態ではあるが、今後、地区会長が計画時に学術部に日程の確認を行うこととなった。

3、公益部(畠山裕司)

- ・『がん予防啓発キャンペーン』が 9 月 9 日に安比高原スキー場で行われる。今年度は大腸がん予防啓発で岩臨技として 5 回目の参加となる。去年は 2 チーム参加したが今年は医大でイベントがあり 1 チームの参加となる。追加参加(走者)については川村公益事業部長に確認してほしい。サポートスタッフが少ない状態である。

4、生涯教育(宮本)

- ・参加者登録について
平成 29 年度の理事会において、各地区役員・各部門長に参加者登録を行ってもらうことになったが、昨年 1 年はこの仕事を覚えるために保留にしてもらっていた。研修会の参加者状況の把握や登録の確認などが必要の為、参加者登録は担当理事が行うこととなった。今年度も昨年通り参加者名簿をサイボウズに UP してほしい。又、点数の加算があるので参加者名簿には座長、発表者、司会者の記入をお願いしたい。
- ・各地区・部門長へのお願い
助成対象となる研修会を主催する場合、研修会の 1 か月前には行事登録等を終えている必要がある。研修会を計画したら早目にサイボウズに UP してほしい。また、研修会終了後は 1 か月以内に参加者登録や決算報告書の作成を終えている必要がある。研修会終了後も出来るだけ速やかに参加者名

簿等をサイボウズにUPしてほしい。決算報告書に研修会の概要等を250字程度記載する箇所があるが、短いと日臨技からもっと詳しく書くように指摘されるので文字数には留意してほしい。

5、事務局報告事項(畠山裕司)

- ・平成30年5月26日から7月13日までの事務局活動報告

- ・平成30年度事務局活動予定

平成31年度の定期総会は平成31年5月25日(土)に決定している。

- ・いわてピンクリボンの会の寄付要請について

ここ数年寄付はしていない。技師会との繋がりが無い為、また特定の1団体のみに寄付することもどうかと思われるので今年も寄付しないこととなった。

- ・岩手県技師会の精度管理調査について

申し込み期間が9月10日(月)～9月25日(火)。9月の初めに各施設にお知らせが郵送される。設問や画像、手引書の準備の締め切り等については別紙参照してほしい。

6、各地区より本年度の活動について

〈北部地区：岡田〉6月に研修会を開催した。今後、9月に研修会、11月に検査と健康展の開催が控えている。

〈三陸地区：石川〉10月6日に2回目の研修会を行う予定である。

7、各学術部門より本年度の活動について

〈臨床一般部門：下川〉今年度は2回程度の研修会を予定している。サーベイは4県合同のサーベイになる。

〈臨床検査総合部門：小野寺〉岩手県沿岸DVT検診が9月9日に陸前高田、9月17日に釜石・大槌、10月27日に山田で開催予定である。研修会は精度管理の時に行う予定である。

〈臨床微生物部門：成田〉6月に第1回の研修会を行った。12月上旬に第2回の研修会を行う予定。病理部門との合同の研修会も考えている。サーベイは昨年度と同様の内容を考えている。

〈輸血細治療部門：小田原〉年2回の研修会を予定。サーベイは例年通り2試料。血液型と不規則性抗体検査を出す予定である。

〈病理細胞部門：山田〉年4回程の研修会を考えている。認定技師の受験者がいるのでその対象となる研修会を開催していきたい。また、他の部門と合同での研修会も考えていく。遺伝子部門の研修会も開いていく予定である。

〈臨床血液部門：佐々木〉今年度は2～3回の研修会を予定している。9月上旬に1回目、12月又は1月に2回目を予定している。サーベイは例年通り、実施する予定である。北日本支部研修会が今年度、岩手県が担当で10月27日、28日に盛岡市リリオで開催予定である。

〈臨床生理部門：相馬〉8月18日、10月13日に研修会を行う予定である。10月の研修会の内容は超音波基礎で超音波検査士試験の対策である。

III 協議・検討事項・その他

- ・認定心電検査技師が資格更新点数の取得可能な研修会の開催について

認定心電検査技師対象の研修会の開催は色々な条件があり、今年度の開催は難しいが今後、身近で開

催できるよう検討していくこととなった。

- ・ホームページ作成、サイボウズの利用停止について

ホームページについては段階的に作成すれば初期費用は抑えられるのでは。いずれにしても予算が絡んでくる。技師会費を値上げするには日臨技に報告する都合上、次回の理事会(9月)に方針を決定することとなった。サイボウズの利用停止についてはRグループを盛岡地区などで試験的に利用していくこととなった。

- ・日臨技精度管理結果サポート事業について

毎年3月に行っている精度管理報告会が日臨技の補助金の対象となる可能性があるが、日臨技からはその後の情報が出ていない。その後の情報を日臨技に確認することとなった。

- ・平成30年度保健医療功労者に対する知事表彰について

推薦には条件があり、該当する対象者がいるか確認することとなった。

- ・認定認知症領域検査技師対象の研修会について

2年程前、認知症領域の研修会があったが、認定認知症領域検査技師の受験資格を得るための研修会を岩臨技で開催してほしい。開催するに当たっての条件等を調べて今後、検討していくこととなった。

- ・部門長の業務内容、任期、選任等について

各部門長の業務が多く、負担が大きい状態である。業務が分散されれば引き継ぎもうまくいくと思われる。宮城県では各部門に精度管理専任者がいるようだ。業務内容が分散されるよう、また在任期間、来年度の選任についても今後、検討していくこととなった。輸血部門の部門長については高舘さんから小田原聖さんに変更となった。

- ・研修会の補助金について

日臨技への補助金申請は決算処理がある為2月までとなっている。3月の研修会はなるべく避けてほしい。毎年3月に行っている精度管理の報告会後の各部門の研修会については従来通りで問題ない。

- ・記念式典について

来年2019年は岩臨技創立65周年、法人化30周年となっている。2004年には創立50周年、法人化15周年で記念誌を発刊している。宮城県では昨年、創立75周年で記念式典を行っている。再来年は北日本学会が控えており開催は難しいと思われる。

- ・第23回岩手県医学検査学会の演題数等について

現在のところ、演題数は9題となっている。10題程度予定している。公開講演は気仙ボケ一座さんに寸劇形式の演劇を予定している。

- ・日本臨床検査技師連盟の執行委員の変更について

日本臨床検査技師連盟の執行委員が安保淳一さんから畠山副会長に変更となった。

- ・細胞検査士の認知度向上について

11月に行われる検査と健康展で細胞検査士の資格の認知度を上げることを行いたい。川村 公益事業部長に相談することとなった。